要素訓練実施計画書
(評価項目及び評価方法)

【現場実働訓練(電源車による緊急用M/C受電)】

2022年1月
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

TEPCO

１．要素訓練実施要領

（１）要素訓練の目的(指標７該当訓練)

○緊急時対策所と連携した事故シナリオに基づく現場実働訓練により，緊急時対策所及び現場対応要員の対応力向上を目的として現場実働及び情報連携訓練を実施する。

○実働している現場対応要員を評価し，現場における課題の抽出を行い，改善事項を検討する。

○抽出した良好事例をNRA及び電力各社と共有し，緊急時対策所及び現場の対応能力の向上を図る。

（２）要素訓練の概要

要素訓練項目：電源車による荒浜側緊急用M/C受電

訓練概要：地震により緊急停止した7号機の代替注水用電源を確保するため，電源車による荒浜側高台緊急用M/C受電対応を行う。
また，重大事故を想定した放射線防護装備を着用し，可搬型照明設備を用いた暗闇対応訓練とする。

評価ポイント：宿直人数（電源隊６名）で手順書に基づき対応できているか，電源車及び接続ケーブルのトラブル時に適切な状況判断・対応ができているかを評価する。

（３）実施日時

○2022年2月18日（金）　14:00～16:00

１．要素訓練実施要領

（４）訓練体制図

個人情報のためマスキング

（５）訓練中止・延期等の判断

以下の条件を基に訓練事務局で訓練の中止または延期を検討し，訓練責任者の最終判断をもって中止または延期とする。

・訓練中止または延期の判断条件

①発電所全体を巻き込むトラブルが発生した場合

②その他，訓練責任者が中止・延期を判断した場合

１．要素訓練実施要領

（６）要素訓練実施内容

訓練情報のためマスキング

１．要素訓練実施要領

（７）マルファンクションの設定

訓練情報のためマスキング

b.要素訓練タイムライン

訓練情報のためマスキング

c. 要素訓練実働展開図（荒浜側高台エリア）

訓練情報のためマスキング

c. 要素訓練実働展開図（荒浜側緊急用M/C）

訓練情報のためマスキング

２．要素訓練　評価方法

（１）訓練観察体制

原子力規制庁殿　　：調整中

各電力会社殿　　：調整中

社内評価者　　：調整中

防災専門官　　：調整中

（２）訓練観察時資料

ａ．要素訓練実施計画書［発電所固有資料］

・訓練体制，訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認

ｂ．要素訓練観察チェックシート［発電所固有資料］

ｃ．手順書［発電所固有資料］

３．要素訓練評価項目及び評価方法

（１）評価項目

・要素訓練全体(緊急時対策所及び現場実働)での共通的な評価

・要素訓練テーマ(電源車による荒浜側緊急用M/C受電)ごとの共通的な評価

・発電所特有の手順に関する評価

※全評価項目の観察，評価を必須とするものではなく，観察できた項目の評価を行うものとして整理

（２）観察記録：評価の理由となる事実

（３）気付き事項，良好事例，改善事項

・気付き事項：良否の判定に関係しない，何らかの気付いた事項

・良好事例　：特に優れている項目。評価者が自社の改善につなげられる項目。

・改善事例　：改善の必要性及び改善方法の提案（少なくとも方向性）

（４）評価結果等の反映

・評価結果，良好事例，気付き事項及び改善事項については，機能班で実施可否を検討したうえで反映する。

・評価結果等は，必要に応じて他機能班に水平展開する。

・必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。